

平成 30 年度 研究成果報告書  
Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化専攻（兼任） 准教授
氏名 Name	小森 万里
専門分野 Academic Field	日本語教育学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	アカデミック・ジャパニーズのための日本語文法研究
<p>日本語母語話者（大学教員）と日本語学習者によって書かれた意見文における「ダロウ」の使用傾向の違いについて考察し、論文を執筆した（「日本語母語話者と日本語学習者の意見文におけるダロウの使用状況」『日本語／日本語教育研究』9号）。</p> <p>また、日本語母語話者と日本語学習者によって書かれた意見文における「ダロウ」と「と思う」の使用のしかたを比較し、作文教育にどのように活かすことができるかについて、国際セミナーで発表した（「日本語母語話者と日本語学習者の意見文における「ダロウ」と「と思う」の分析—作文教育への応用に向けて—」第1回 タマサート大学・大阪大学日本語教育ジョイントセミナー）。</p> <p>さらに、日本語母語話者による学術論文における「ダロウ」の使用のしかたについて考察し、どのような箇所でもどのような目的をもって、どのような表現とともに用いられることが多いのかについて明らかにするとともに、意見文における「ダロウ」と学術論文における「ダロウ」の使用について比較した。本研究の成果は国際シンポジウムで発表した（「意見文と学術論文におけるダロウの使用について」タイ国日本研究国際シンポジウム 2018）。本発表の内容については論文を執筆した（印刷中）。</p> <p>また、日本語教育を専門としない留学生、および日本人学生にとっての日本語教育学を学ぶ意義についての研究も行った。本研究は、国際シンポジウムで発表したほか、論文を執筆した。（「日本語教育学を専門としない学生は日本語教育系科目から何を学ぶのか」ヴェネツィア 2018 年日本語教育国際研究大会、『日本語教育学概論』履修の意義—留学生と日本人大学生の共通点と相違点—『グローバル化時代における日本語教育と日本研究』）</p> <p>その他、日本語教育実習生に授業見学の機会を提供するために Skype を使った遠隔授業配信システムの構築を 3 大学で連携して行い、その成果を国際シンポジウムでパネル・セッションによって共同発表した（「日本語教育実習における遠隔授業見学の有効性と課題」香港第 12 回日本語教育・日本研究シンポジウム）。本発表についての共著論文は、現在印刷中である。</p>	